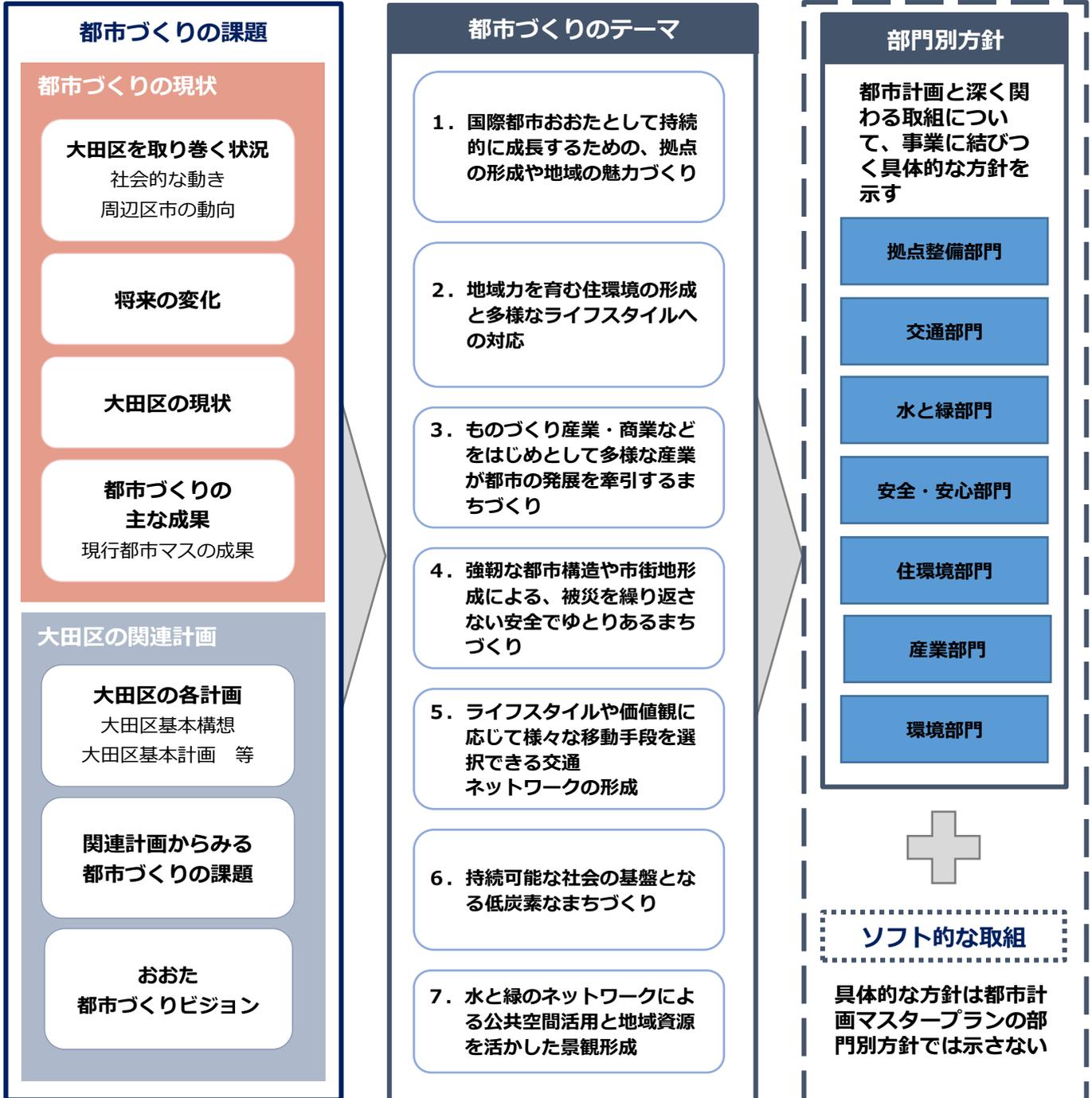


都市づくりのテーマ・個別方針と部門別方針の構成（案）

大田区を取り巻く状況や将来の見込みは変化しており、複雑化する都市の課題に対応するため、部門を横断した施策の連携が必要です。また、区民や事業者等と都市づくりに対する共通の認識をもち、多様な主体の連携により取り組むことが必要です。

そこで、第3章の「都市づくりの現状と課題」を踏まえ、都市づくりの目標達成に向けた部門横断的なテーマを設定し共有することで、戦略的な取り組みを進めます。また、テーマごとに方針を示し、ハード面とソフト面とが連携して目指す施策の目標を示します。



都市計画マスタープランに記載する内容

他の計画で具体的な方針を示す取組

都市づくりのテーマの実現に向けた取組

「都市づくりの現状と課題」や「全体方針」を前提に、都市づくりにおける7つの部門ごとに都市計画と深く関わる取組について、事業に結びつく具体的な方針を示します。

設定する部門は、拠点整備、交通、水と緑、安全・安心、住環境、産業、環境の7部門です。

現行からの変更点として、「土地利用方針」については、各部門に関わりが強いことから将来都市構造の一部及び地域別構想にて示します。「ユニバーサルデザインのまちづくり方針」に記載していた取組は、部門を設けずに複数の部門に取組を記載します。「景観のまちづくり方針」に記載していた取組は、複数の部門に関わりますが、主に住環境部門に記載します。

【部門構成の変更】

現行計画	改定案
1. 土地利用方針	※土地利用方針は、将来都市構造の一部及び地域別構想に記載する
	1. 拠点整備部門
2. 交通ネットワークの整備方針	2. 交通部門
3. 水と緑の整備方針	3. 水と緑部門
4. 安全・安心のまちづくり方針	4. 安全・安心部門
5. ユニバーサルデザインのまちづくり方針	※ユニバーサルデザインの取組は、複数の部門に記載する
6. 住宅・住環境整備の方針	5. 住環境部門
7. 産業のまちづくり方針	6. 産業部門
8. 景観のまちづくり方針	※景観の取組は、主に住環境部門に記載する
9. 環境のまちづくり方針	7. 環境部門

【都市づくりのテーマ・個別方針に係る取組と部門との関連イメージ】

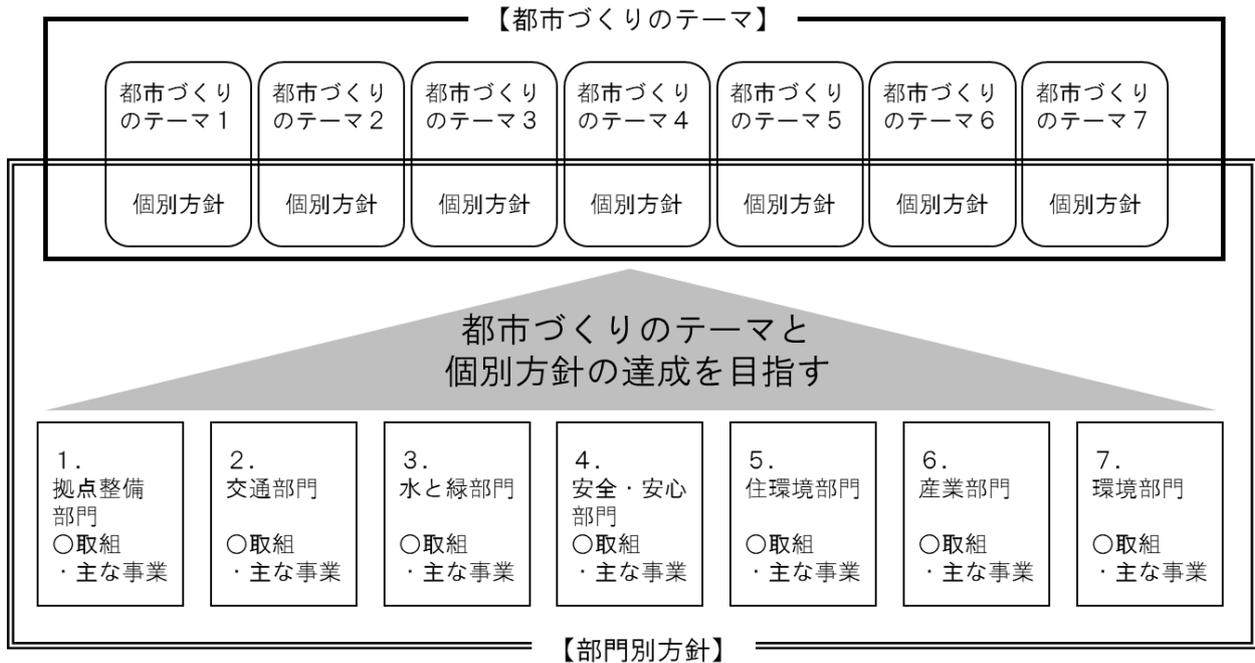
	1. 拠点整備部門	2. 交通部門	3. 水と緑部門	4. 安全・安心部門	5. 住環境部門	6. 産業部門	7. 環境部門
テーマ1. 国際都市おおたとして持続的に成長するための、拠点の形成や地域の魅力づくり	●	●	●		●	●	●
個別方針 1-1 中心拠点の広域連携・交流機能を高める	●	●	●			●	●
個別方針 1-2 国際都市おおたの魅力をつくる	●		●		●	●	
個別方針 1-3 文化・観光のまちづくりを進める	●	●	●		●		
テーマ2. 地域力を育む住環境の形成と多様なライフスタイルへの対応	●	●	●	●	●	●	
個別方針 2-1 個性を活かした多様な拠点や地域をつくる	●		●		●		
個別方針 2-2 多様なライフスタイルに応じた暮らしの場を提供する		●	●		●	●	
個別方針 2-3 住宅の質を維持・向上させる					●		
個別方針 2-4 地域力を活かした生活環境づくりを進める	●		●	●	●		
個別方針 2-5 スポーツ・健康まちづくりを進める		●	●		●		
個別方針 2-6 公共施設を将来も健全に使い続ける					●		
テーマ3. ものづくり産業・商業などをはじめとして多様な産業が都市の発展を牽引するまちづくり	●	●				●	●
個別方針 3-1 ものづくり産業を維持・発展させる		●				●	●
個別方針 3-2 新たな産業・ビジネスを支えるまちづくりを進める	●					●	●
個別方針 3-3 まちづくりと連携した商業環境を整備する	●					●	
テーマ4. 強靱な都市構造や市街地形成による、被災を繰り返さない安全でゆとりあるまちづくり	●	●	●	●	●		●
個別方針 4-1 災害に対して強靱な都市をつくる	●	●	●	●	●		●
個別方針 4-2 復興まちづくりを進める				●	●		
個別方針 4-3 地域力を活かした安全・安心まちづくりを進める				●			
個別方針 4-4 都市インフラを将来も健全に使い続ける				●			
テーマ5. ライフスタイルや価値観に応じて様々な移動手段を選択できる交通ネットワークの形成	●	●	●	●	●	●	●
個別方針 5-1 社会情勢の変化に対応した道路ネットワークを整備する	●	●	●	●	●		
個別方針 5-2 公共交通ネットワークの利便性を高める	●	●			●		
個別方針 5-3 多様な交通手段によりきめ細かく移動できるまちをつくる		●	●		●	●	●
テーマ6. 持続可能な社会の基盤となる低炭素なまちづくり	●	●	●			●	●
個別方針 6-1 環境にやさしい低炭素なまちづくりの推進	●	●	●			●	●
個別方針 6-2 環境配慮型ライフスタイルへの転換		●					●
テーマ7. 水と緑のネットワークによる公共空間活用と地域資源を活かした景観形成		●	●		●		
個別方針 7-1 水と緑を楽しめる都市をつくる			●		●		
個別方針 7-2 多様な活用方法を用いて持続可能な水と緑の空間をつくる		●	●		●		
個別方針 7-3 地域資源を活かした景観形成を進める		●			●		

● 都市づくりのテーマ・個別方針に関連する部門

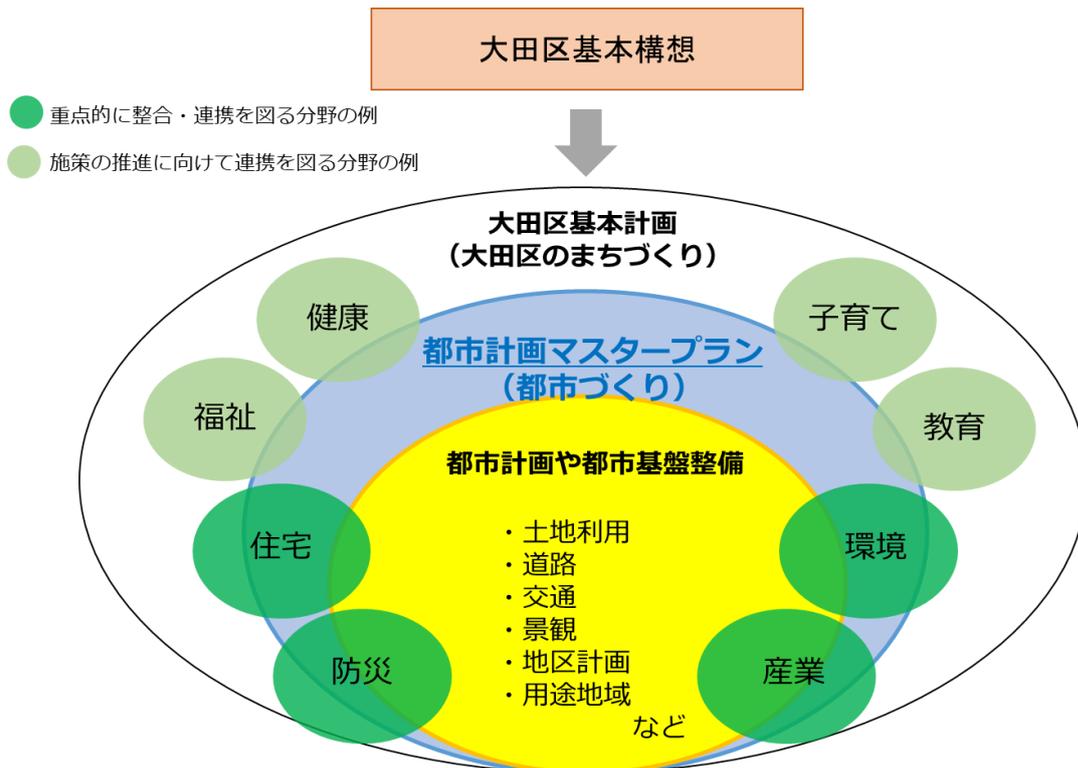
部門別方針では、都市づくりのテーマと個別方針に紐づいた取組と主な事業を示します。部門横断的な都市づくりのテーマと個別方針を目標として、各部門の取組を進めていきます。

なお、都市づくりのテーマと個別方針は、「都市づくり」に関する内容としてハード・ソフト両面を含めた幅広い内容で設定しましたが、部門別方針は都市計画や都市基盤整備に深く関連して進める分野に特化した内容を記載します。

【都市づくりのテーマ・個別方針と部門別方針の関係】



【(参考) 都市計画マスタープランの位置づけ】



都市づくりのテーマ 1. 国際都市おおたとして持続的に成長するための、拠点の形成や地域の魅力づくり

(目指す姿)

社会経済情勢が更に大きく変化していく中、大田区は、環境負荷の低減や誰もが活躍できる社会を実現しながら、産業や文化・観光のまちづくり活動を展開するとともに、イノベーションを創出し、東京の活力の一翼を担っています。

羽田空港の機能強化や訪日外国人数の増加など国際化が進展する中、中心拠点や区内臨海部といった拠点相互のつながりを活かし、働き場、学び場、遊び場、集いの場、憩いの場としての多彩な個性を持ち、多くの人が訪れたい魅力ある都市になっています。

個別方針 1-1 中心拠点の広域連携・交流機能を高める

区全体の活性化に寄与する中心拠点の都市づくりを進めます。蒲田と大森の空港臨海部に近い立地特性を活かした都市づくりによって、人々の交流や産業のさらなるにぎわいと活力を生み出します。羽田空港周辺や臨海部は、空港跡地開発や交通ネットワークを活かした産業・観光・文化・レクリエーションなど多様な都市活動の活性化を図ります。これらの個性ある拠点同士が、陸・海・空の交通結節機能の強化などにより、有機的な連携を高め相乗効果を発揮し、より大きな拠点性を発揮することを目指します。

個別方針 1-2 国際都市おおたの魅力をつくる

羽田空港のポテンシャルを区全体へと展開するため、ものづくり産業集積地にも隣接する空港跡地の産業支援・文化交流機能を発揮し、周辺地域へ波及効果をつなげます。区政推進のキーワードである「地域力」と「国際都市」の関連を、より多くの区民が感じることができるよう、地域での外国人との交流を促進するとともに、東京・日本の玄関口としてふさわしい、水辺を活かしたまちなみづくりを推進します。

個別方針 1-3 文化・観光のまちづくりを進める

文化・観光都市として、これまでの観光まちづくり活動を継承しつつ独自の産業と都市文化を創造し、観光資源間の回遊性・交通環境向上などにより、大田区の観光を世界に発信します。また、文化を介したつながりが区外へと広げていくことで広域的なコミュニティを形成し、多くの人々を大田区に惹きつけることで、産業の活性化、観光まちづくりなどへとつなげていきます。

都市づくりのテーマ 2. 地域力を育む住環境の形成と多様なライフスタイルへの対応

(目指す姿)

高齢者や子育て世代、障害者などあらゆる人が暮らしやすく、また、ライフスタイルや価値観の多様化に応じて、住み、働き、憩う場が選択できる都市となっています。

少子高齢化が進展する中、スポーツ・健康まちづくりや公共施設の利活用などにより、高齢者などが健康で自立した生活を営み、かつ、若者から高齢者まで幅広い年齢層の人が、地域力を育む担い手として活躍しています。

- 個別方針 2-1 個性を活かした多様な拠点や地域をつくる
- 個別方針 2-2 多様なライフスタイルに応じた暮らしの場を提供する
- 個別方針 2-3 住宅の質を維持・向上させる
- 個別方針 2-4 地域力を活かした生活環境づくりを進める
- 個別方針 2-5 スポーツ・健康まちづくりを進める
- 個別方針 2-6 公共施設を将来も健全に使い続ける

都市づくりのテーマ 3. ものづくり産業・商業などをはじめとして多様な産業が都市の発展を牽引するまちづくり

(目指す姿)

人工知能、自動運転、環境技術など、様々な技術の実用化が進み、これらを、産業を支える都市づくりの中で積極的に受け入れています。その結果、高付加価値を産み出すものづくり産業の集積地として、国内外と活発にビジネス交流しています。加えて、新たな産業やビジネス、商業など様々な業種の事業者が各々の強みを活かし、成長しています。

また、海外や区外からより多くの来訪者が訪れ、さらに区内を回遊することで、大田区の魅力を楽しんでいます。

- 個別方針 3-1 ものづくり産業を維持・発展させる
- 個別方針 3-2 新たな産業・ビジネスを支えるまちづくりを進める
- 個別方針 3-3 まちづくりと連携した商業環境を整備する

都市づくりのテーマ 4. 強靱な都市構造や市街地形成による、被災を繰り返さない安全でゆとりあるまちづくり

(目指す姿)

大規模自然災害等に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を、都市づくりにおける取組として計画的に実施し、強靱な地域づくりが進んでいます。

巨大地震や、異常気象などに起因する集中豪雨や局地的大雨には、ハード・ソフトの両面からの的確な対策が整えられており、人々の生活を支える安全・安心な都市が形成されています。

- 個別方針 4-1 災害に対して強靱な都市をつくる
- 個別方針 4-2 復興まちづくりを進める
- 個別方針 4-3 地域力を活かした安全・安心まちづくりを進める
- 個別方針 4-4 都市インフラを将来も健全に使い続ける

都市づくりのテーマ 5. ライフスタイルや価値観に応じて様々な移動手段を選択できる交通ネットワークの形成

(目指す姿)

生産年齢人口の減少をはじめ超高齢社会が進展する中、新空港線の整備をはじめ多様な交通モードと最先端技術を組み合わせ、利便性の高い道路・公共交通ネットワークを構築し、人・モノの自由自在な移動と活発な交流が実現しています。

ICT、自動運転等の新たな技術開発などを取り入れ、人中心の道路環境の形成をはじめ交通分野の様々な課題を解決し、区民も来訪者も内外へ円滑に移動できる都市になっています。

- 個別方針 5-1 社会情勢の変化に対応した道路ネットワークを整備する
- 個別方針 5-2 公共交通ネットワークの利便性を高める
- 個別方針 5-3 多様な交通手段によりきめ細かく移動できるまちをつくる

都市づくりのテーマ 6. 持続可能な社会の基盤となる低炭素なまちづくり

(目指す姿)

まち全体のエネルギー効率の向上や公共交通の充実や多様な交通手段の導入等を図ることで、経済活動や暮らしに伴う二酸化炭素の排出量を削減していく低炭素なまちが実現しています。

区民・事業者・区が連携・協働することで、まち全体の環境保全意識が向上し、環境配慮型ライフスタイルへ転換しています。

個別方針 6-1 環境にやさしい低炭素なまちづくりの推進

個別方針 6-2 環境配慮型ライフスタイルへの転換

都市づくりのテーマ 7. 水と緑のネットワークによる公共空間活用と地域資源を活かした景観形成

(目指す姿)

豊富な緑と水や、歴史・文化が蓄積された大田区の資源や公共空間を最大限活用し、誰もが身近な場所で水や緑にふれあい、親しむことができる都市になっています。

また、地形や自然環境、歴史や文化などから生み出される多彩で魅力的な景観が形成されています。

個別方針 7-1 水と緑を楽しめる都市をつくる

個別方針 7-2 多様な活用方法を用いて持続可能な水と緑の空間をつくる

個別方針 7-3 地域資源を活かした景観形成を進める